

一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 令和6年度（2024年度）事業報告

（敬称略）

定款第5条各項により

第一項 ピアノを中心とする音楽および音楽教育に関する講習会、研修会、演奏会等の開催

■ピティナ・ピアノセミナー（本部事務局主催、後援）

令和6年度（2024年度）は、650箇所で開催。

■レッスン見学（本部事務局主催、後援）

令和6年度（2024年度）は、45箇所で開催。

■ピティナ・eラーニング（本部事務局）

令和6年度（2024年度）は、ピアノ指導に関するコンテンツを345件公開。年度末時点の登録者は5,214名。

※うちYouTubeメンバーシップ登録者504名

■研究発表ピティナコンサートシリーズ（コンクール運営委員会）

○2024年度第48回ピティナ・ピアノコンペティション ソロ・デュオ部門入賞者記念コンサート

日程：令和7年（2025年）3月23日（日）

会場：第一生命ホール

出演者：第48回ピティナ・ピアノコンペティション A1級～特級、連弾初級A～連弾上級 入賞者34組

○2024年度特級ガラコンサート

日程：令和7年（2025年）2月11日（火・祝）

会場：J:COM浦安音楽ホール

出演者：第48回ピティナ・ピアノコンペティション 特級ファイナリスト4名

○2024年度第48回ピティナ・ピアノコンペティション グランミューズ部門入賞者記念コンサート

日程：令和7年（2025年）2月23日（日）

会場：Hakujūホール

出演者：第48回ピティナ・ピアノコンペティション グランミューズ部門 入賞者16組

○グランミューズ・サロン

令和6年度（2024年度）は41件実施。

主催者：嘉屋翔太、金子淳、原口摩純、江本純子、黒田亜樹、樋口あゆ子、杉浦菜々子、今泉響平、若松成、中田雄一郎、片山柊、北村明日人、浅田陽子、竹内淳、中津美和

会場：タカギクラヴィア松濤サロン、イトウミュージックシアター、Studio Chez Claude ホールA、PLAY江古田・新丸子サロンホール、イギリス館、フィリアホール、カワイ広島「パーチェ」、カワイ広島、オクターブハウス、スタインウェイ&サンズ東京・大阪、恵比寿KIRA HALL、芸術家の家スタジオ、大阪 庄内 豊南橋サロン、ライティングハウスTOKYO、ヤマハミュージックジャパン広島店7Fサロン、スタジオリトルネッロ、ベヒシュタイン東京ザール スタジオB、島村楽器ピアノセレクションセンター、Studio Waves -Nishiazabu

○特級グランド・コンチェルト2024

日程：令和6年（2024年）8月30日（金）

会場：サ・シンフォニーホール

出演者：古海行子（2018年特級銅賞）、森本隼太（2020年特級銀賞）、田村響（2002年特級グランプリ）

■ピティナ・アンサンブルワークショップ「音符がもっと見えてくる！～チームで取り組む《2台4手アンサンブル》」（アンサンブル・国際交流委員会）

日程：令和6年（2024年）10月5日（土）

会場：昭和音楽大学 南校舎 スタジオ・ブリオほか

35名が参加・聴講した。

■トークコンサート（ステップ運営委員会）

令和6年度（2024年度）は294地区開催。

■ブレアドバイザー研修会（アドバイザー派遣委員会）

令和6年度（2024年度）は11回実施し52名が受講した。その成果により、2024年度中に37名が正アドバイザーとして承認された（※）。※2025年1月までにブレアドバイザー研修を終えた方が対象

第二項 ピアノを中心とする音楽指導者および学習者等の技能の審査、コンクール等の実施

■第48回ピティナ・ピアノコンペティション（コンクール運営委員会）

予選・本選：

全部門（ソロ部門A2級～特級、デュオ部門及びグランミューズ部門）を予定通り開催。予選参加組数は27,929組（前年比96.6%）となった。

動画予選：

ソロ部門・デュオ部門では、2024年度より「動画予選」を開始。動画の応募も受け付けてまとめて審査し、実地の地区本選に進出することができる。初年度は451組の参加があった。

課題曲チャレンジ

2020年度より実施している動画提出型・次選なしで課題曲学習に寄与する企画は、2024年度も継続実施。累計319組が参加した。2025年度は実施しないこととなった。

・ピティナ・ピアノコンペティションへの審査員派遣（審査員選考委員会）

令和6年度（2024年度）は、358地区のピティナ・ピアノコンペティションへ844名、延べ2,007人の審査員を派遣した。当該年度に初めて審査を行ったのは39名。また、前年に続き実施した課題曲チャレンジの採点に延べ21名に協力いただいた。2024年度から開始した動画予選は、海外を拠点としている方を含む65名の審査員に協力いただいた。

■ピティナ・ピアノステップ（ステップ運営委員会）

令和6年度（2024年度）は624地区が開催され、42,921組が参加した。参加組数は前年比100.5%、演奏時間合計は前年比102.9%となった。

・ピティナ・ピアノステップへのアドバイザー派遣（アドバイザー派遣委員会）

令和6年度（2024年度）は、ステップへ788名、延べ1,893人のアドバイザーを派遣した。当該年度に初めて正アドバイザーとしてアドバイスを行ったのは29名。

■ピティナ・ピアノ指導者ライセンス（指導者育成委員会）

令和6年度（2024年度）は、延べ50地区（うち7地区は動画提出型）で指導実技審査・演奏実技審査・レポート審査を実施。受検者は延べ509名。

■全国一斉課題曲筆記試験（指導者育成委員会）

令和6年度（2024年度）は、延べ14地区で開催。うち4地区はオンラインでの開催。

春期はコンペティション課題曲、秋期は提携コンクール課題曲を題材とした筆記試験（指導者ライセンス筆記試験、ingプログラムWriting）を実施。受検者は延べ141名。

■提携コンクール（理事会）

外部団体主催のコンクールにウェブ申込システムの提供とステージポイントの共有を行った。

令和6年度（2024年度）は48種類・356地区のコンクールと提携。申込数は延べ29,713件。

第三項 音楽および音楽教育に関する調査研究、情報公開

■機関誌「Our Music」375号より計6回発行（理事会）

380号を「令和6年度（2024年度）ピティナ・ピアノコンペティション参加要項」として刊行。

■新曲作品募集とその選考（本部事務局）

譜面審査：令和6年（2024年）10月23日（水）～11月24日（日）

応募84曲から12曲をコンペティション課題曲候補として検討。

■ピティナのウェブサイト上で「ピアノ曲事典」の掲載・更新（メディア委員会）

ピティナ・ピアノ曲事典（ウェブサイト）の構築。令和7年（2025年）3月末時点で、約3,000人の作曲家情報と9万曲の作品情報を公開中。

■ピティナ音楽研究所

令和4年（2022年）4月に新設し、同年9月に文部科学省から科研費申請機関としての「指定通知」を受けた。設立当初から所属していた研究員の任期満了に伴い、2024年4月に菅沼起一氏（音楽学）、松川亜矢氏（音楽教育学）が協力研究員として加入、さらに福田成康専務理事が「専門研究員」となった。12月には中村栄太氏（音楽情報学）が着任し、分野間の活発な交流が生まれている。

■公開録音コンサート（メディア委員会）

令和6年度（2024年度）は19公演を実施（2010年1月からの通算開催数：309回）。当年度の全公演の入場料収入合計は1,636,000円であった。また、259曲の新規音源をピティナ・ピアノ曲事典に登録した。

■音楽総合力UPセミナー（メディア委員会）

「音楽家としての自立」をテーマとした10組の講師による連続講座（通算15回目）。指揮者の大井剛史氏と角田鋼亮氏による対談やYouTubeで活躍する「ハラミちゃん」を迎えた追加講座など、新たな手法も試みた。

■オンデマンド楽譜印刷・製本サービス「ミュッセ」（本部事務局、課題曲選定委員会）

商品を自由な組み合わせ・曲順で楽譜集にまとめられるオンデマンドの楽譜印刷・製本サービス。販売中の作品数は8,420点（2025年5月1日時点）。個人出品物の販売に加えて、ピティナ事業に関わる作品の販売として、コンペ課題曲やアナリーゼ楽譜の単品販売のほか、編曲オーディションの受賞作品を褒賞として販売。

第四項 ピアノを中心とする音楽教育に関する国際交流事業の実施

■世界の諸地域との交流・情報交換

○イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、オーストリア、ロシア、ポーランド、トルコ、アイルランド、フィンランド、中国、香港、韓国、タイ、フィリピン、モンゴル、インドネシア、シンガポール、アメリカ、カナダ、MTNA（The Music Teachers' National Association of U.S.A.）、EPTA（European Piano Teachers Association）、FACP（Federation for Asian Cultural Promotion）、World Federation of International Music Competitions（国際コンクール世界連盟）等との情報交換。

○浜松国際ピアノコンクール事務局・仙台国際音楽コンクール事務局（日本）、リスト国際コンクール事務局（オランダ）、エリザベート王妃国際音楽コンクール（ベルギー）、ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクール事務局・クリーブランド国際ピアノコンクール事務局・ジーナ・バックアウワー国際コンクール事務局（アメリカ）、アーリンク・アルゲリッチ財団等との情報交換。

○来日アーティスト

令和6年度（2024年度）は、ピティナ・ピアノコンペティション全国大会（特級～Jr.G級）に海外招聘審査員3名を迎えた。また、特級二次予選などには、日本在住または日本に滞在している海外アーティスト・ピアノ教授を審査に招聘した。

第五項 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

■ピティナ・学校クラスコンサート（理事会）

令和6年度（2024年度）は54校（児童4,006名）で開催。

内訳（出資元別）：支部・ステーション1校、自治体・教育委員会32校、文化庁派遣事業15校、学校主催3校、
本部共催2校、本部主催1校

■ピティナ・ピアノ教室紹介（理事会）

6,895件（2025年3月末日時点）

■ピティナ伴奏者紹介（理事会）

50件（2025年3月末日時点）

■ピティナ調律師紹介（理事会）

42件（2025年3月末日時点）

■専門家によるオンライン無料相談窓口

経営相談：8件 法律相談：1件（2025年3月末日時点）

■寄付金（理事会）

下記の事業およびプロジェクト、または関係団体への寄付として合計8,987,871円／659件の寄付を集めた（2025年3月末日時点）。寄付方法は、ピティナ・ウェブサイトからの申込（クレジットカード等）、指導者賞賞金による寄付など。

- ・各事業への寄付：ピアノ教室紹介、ピアノ曲事典／調査・研究／音楽研究所、学校クラスコンサート、特級（2,443,946円／365件）
- ・事業指定なしの寄付：（2,149,625円／10件、うち200万円の個人からの寄付1件含む）
- ・2024年特級クラウドファンディング（3,650,000円／247件）
- ・褒賞として：ヒノキ新薬より400,000円
- ・関連団体 公益財団法人福田靖子賞基金（ピティナ経由：344,300円／36件）

なお、令和6年能登半島地震災害義援金として、合計4,927,754円／199件の寄付を集め（※）、穴水ラベンダーステーション・のと七尾ステーションの2ステーションに送金。（ピティナのマッチング寄付額は1,001,951円）

※2025年3月末日時点。同日をもって募集を締め切った。

■当協会の目的達成に協力する団体等との連絡提携

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| ○公益財団法人 福田靖子賞基金 | ○公益社団法人 日本演奏連盟 |
| ○一般社団法人 日本ピアノ調律師協会 | ○公益社団法人 日本オーケストラ連盟 |
| ○一般社団法人 日本楽譜出版協会 | ○一般社団法人 日本作曲家協議会 |
| ○公益財団法人 東京二期会 | ○公益財団法人 音楽文化創造 |
| ○一般社団法人 日本弦楽指導者協会 | ○一般社団法人 日本クラシック音楽事業協会 |
| ○公益財団法人 音楽鑑賞教育振興会 | ○仙台国際音楽コンクール |
| ○一般社団法人FACP日本 | ○アーリンク・アルゲリッチ財団 |
| ○音楽教育を守る会 | ○日本民間教育協議会 |
| ○デジタルアーカイブ学会 | ○日本音楽学会 |
| ○日本音楽芸術マネジメント学会 | ○日本音楽教育学会 |
| ○教育立国推進協議会 | ○「エクセレントNPO」をめざそう市民会議 |
| ○公益財団法人日本非営利組織評価センター | ○慶應義塾大学 |
| ○全国の自治体及び教育委員会 | ○全国の音楽学校、音楽大学 |
| ○当協会団体会員（60団体） | |

以上の団体との情報交換。